

平成26年10月30日
株式会社日本政策金融公庫

生活衛生関係営業の景況、持ち直しの動きが続くものの改善幅は小幅にとどまる
日本公庫「生活衛生関係営業の景気動向等調査（2014年7～9月期）」より

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

【調査結果のポイント】

○売上、採算、業況判断DIはいずれも6期連続で前年同期を上回るもののDIの上昇幅（前年同期比）は縮小

国民の日常生活に密接に関係した生活衛生関係営業^(注)の2014年7～9月期の売上、採算、業況判断の各DIは▲16.7、▲4.4、▲16.0となり、前年同期に対してそれぞれ3.3ポイント、3.0ポイント、0.7ポイント上回りました。生活衛生関係営業の景況は、持ち直しの動きが続いているものの、改善幅は小幅にとどまっています。

業種別にみると美容業、理容業、食肉・食鳥肉販売業の3業種で、業況判断DIが前年同期を上回りました。

また、来期（2014年10～12月期）の売上、業況判断DI見通しは▲12.5、▲14.5と、今期に比べそれぞれ4.2ポイント、1.5ポイントの上昇を見込んでいます。

(注) 生活衛生関係営業とは、厚生労働省が所管する法律「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」で規定する飲食業、理・美容業、クリーニング業、ホテル・旅館業など18の営業をいう。

<特徴的な業況判断理由>

- ・消費税引き上げの影響か、4・5月はあまり良くなかったが、その反動もありかなり好転した。前期と比べて商品の売上が増えていることもあり、景気が少し良くなっているように思われる（理容店、香川県）
- ・消費税アップの影響から脱し、客単価も上昇に転じて比較的順調に推移している（食肉販売業、熊本県）
- ・円安が続く状況は業界にもプラスの影響を与え、訪日外国人の増加により宿泊客数が増えている（ホテル・旅館業、大阪府）
- ・消費税引き上げに少しは慣れたようで、いつもどおりの周期で来店してくれていると思う（美容業、秋田県）
- ・客数・客単価ともに悪くないが、当期の後半は悪天候が続いたため、伸びなかった（そば・うどん店、三重県）
- ・当期は雨の日が続き、集客が非常に難しかった（社交業、島根県）

<お問い合わせ先>

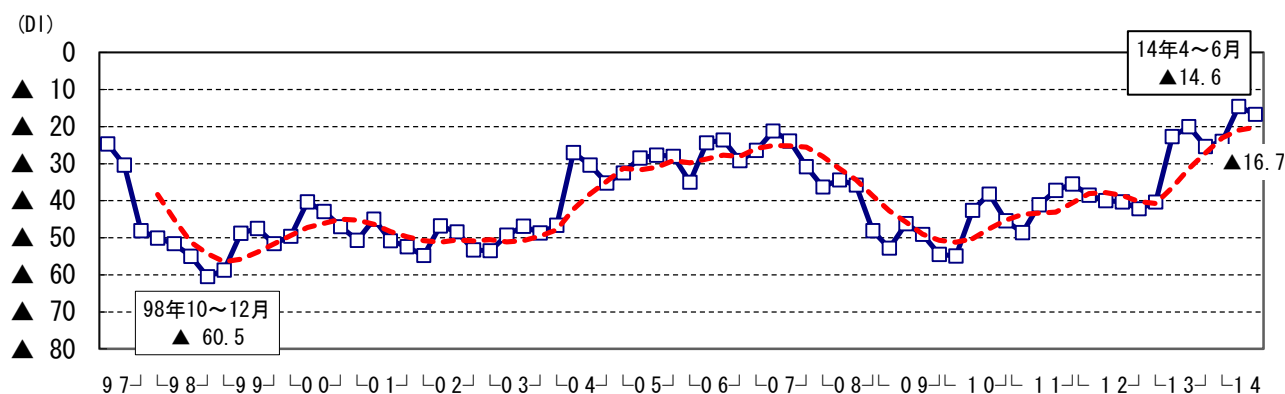
日本政策金融公庫 国民生活事業本部 生活衛生融資部
生活衛生情報支援グループ 担当：野俣、谷藤 TEL 03-3270-1653

<調査概要>

生活衛生関係営業の景気動向等調査は、全国の生活衛生関係営業の主な業種について、その景気や設備投資の動向などを把握するため、定期的に（年4回）実施しているものです。

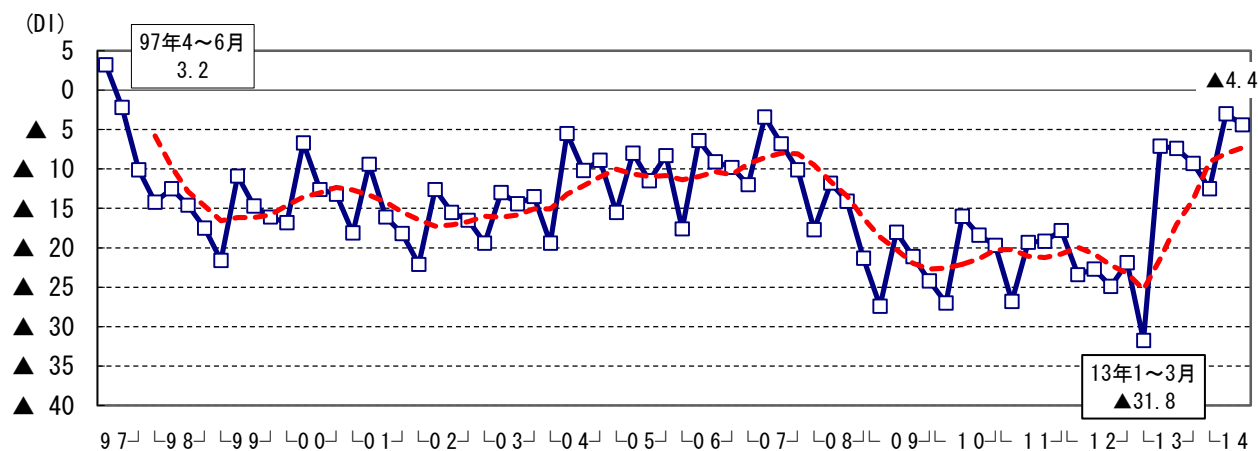
調査時点	2014年9月上旬			
調査方法	郵送調査			
調査対象	生活衛生関係営業 3,220 企業			
有効回答企業数	3,008 企業（回答率 93.4%）			
（業種内訳）	飲食業	1,436 企業	映画館	53 企業
	食肉・食鳥肉販売業	151 企業	ホテル・旅館業	165 企業
	氷雪販売業	56 企業	公衆浴場業	110 企業
	理容業	365 企業	クリーニング業	241 企業
	美容業	431 企業		

参考1 売上DIの推移



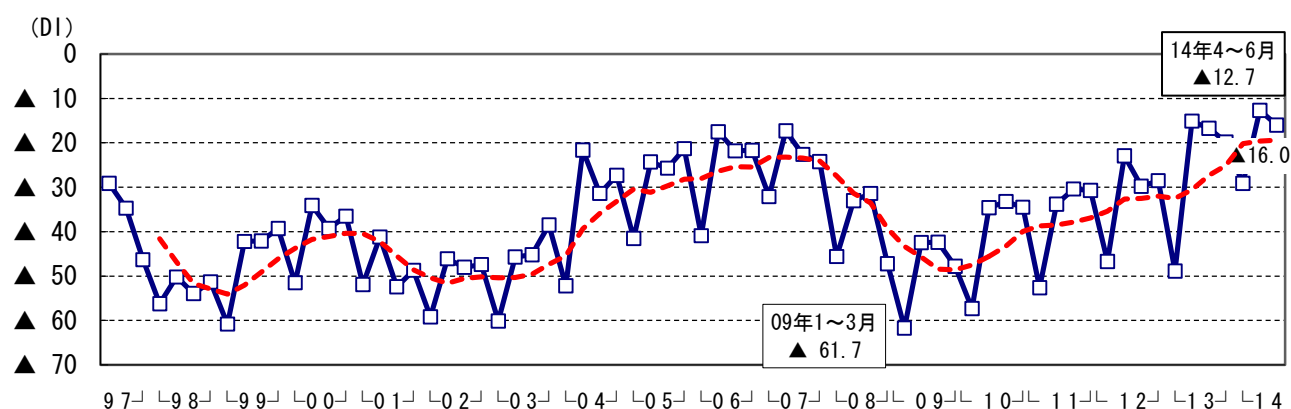
- (注) 1 売上DI = 前年同期比「増加」企業割合 - 「減少」企業割合
2 点線は4期間移動平均。四角囲いは近年の最低値及び最高値

参考2 採算DIの推移



- (注) 1 採算DI = 当該期「黒字」企業割合 - 「赤字」企業割合
2 点線は4期間移動平均。四角囲いは近年の最低値及び最高値

参考3 業況判断D Iの推移



(注) 1 業況DI=前期比「好転」企業割合-「悪化」企業割合
2 点線は4期間移動平均。四角囲いは近年の最低値及び最高値

参考4 売上、採算、業況判断D Iの今期D Iと前年同期実績との差

業種	売上D I (前年同期実績との差)		採算D I (同左)		業況判断D I (同左)	
	▲	(▲)	▲	(▲)	▲	(▲)
飲食業	▲15.0	(+4.5)	▲7.2	(+5.6)	▲16.2	(▲0.5)
美容業	▲16.0	(+1.5)	3.5	(+4.5)	▲11.6	(+5.6)
理容業	▲25.6	(+6.1)	0.0	(+3.4)	▲16.2	(+4.7)
クリーニング業	▲27.0	(+7.6)	▲16.6	(+0.5)	▲48.5	(▲1.4)
ホテル・旅館業	▲4.2	(▲7.4)	3.6	(▲0.2)	6.7	(▲4.1)
食肉・食鳥肉販売業	▲1.3	(+6.2)	▲2.6	(▲4.9)	▲7.9	(+12.4)
公衆浴場業	▲19.1	(+11.2)	▲25.5	(▲13.6)	▲23.6	(▲5.3)
冰雪販売業	▲35.7	(▲33.9)	21.4	(▲15.0)	7.1	(▲31.1)
映画館	▲17.0	(▲14.9)	17.0	(+6.6)	0.0	(▲4.2)
生活衛生関係営業全体	▲16.7	(+3.3)	▲4.4	(+3.0)	▲16.0	(+0.7)

参考5 最近2年間の売上、採算、業況判断D Iの前年同期実績との差の推移

	2012年			2013年			2014年		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
売上D I	▲3.1	▲6.7	▲1.9	+17.3	+20.3	+16.8	+16.4	+8.1	+3.3
採算D I	▲5.7	▲4.1	▲8.4	+15.6	+17.5	+12.6	+19.3	+4.1	+3.0
業況判断D I	+0.6	+2.2	▲2.2	+7.8	+13.1	+8.7	+19.8	+2.4	+0.7